

かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)

電話 66-1311
FAX 66-1314



福南分教会

昭和10年12月3日 設 立

昭和30年9月13日 神殿増改築奉告祭

陽気ぐらしを目指して、たすけの輪を広げよう

今一手一つに、一步一步!

- *一教会、初席者一名以上
- *おさづけを身近に
- *百万件のにをいがけ

創立百三十周年記念祭並六代会長就任奉告祭

立教184年(2021年)10月24日 執行

立教183年

5・6
月号

大教会長後継者 上原明勇様 愛美様
めでたく御結婚

大教会長後継者である上原明勇(あきお)様と中山愛美(よしみ)様(御分家四女)は、昨年11月5日、結納の儀、幾久しく調い、大教会神苑に平戸躑躅が今を盛りと咲き誇る5月8日の吉日、ご両親・お兄様のお手により、五荷の荷入れ芽出度く納まりまして、ご婚礼の儀は、5月29日午前10時、教会本部教祖殿にて厳かに執り行われました。



五月晴れとなったこの日、媒酌人は大教会世話人島村廣義本部員先生・みつよ夫人、主礼は井筒梅夫本部員先生がおつとめくだされる中、新郎新婦・両家家族は本部に集合、定刻に、教祖殿合殿に参進しました。両家家族らが参列する中、新郎新婦は存命の教祖の御前で夫婦固めの盃を戴かれ、続いて、主礼が両人に代わって教祖に結婚誓詞を奏上されました。

その後、神殿にてお礼のおつとめが勤められ、媒酌人・新郎新婦・両家両親は、お宅お玄関に赴き、真柱様・はるえ奥様・大亮様・布恵様に、ご報告と御礼を申し上げました。

その後、笠岡詰所3階大広間に会場を移して親族固めの盃が行われ、島村先生のご発声、乾杯の後、両家父親によりそれぞれの親族が紹介されました。

結びとして、3階講堂にて集合写真を撮影し、お開きとなりました。

なお、コロナ禍に配慮し、婚礼の参列者は両家家族と新郎新婦の兄弟までにとどめられました。

♠ 明勇様プロフィール

昭和58年3月29日、上原理一大教会長、きよれ夫妻の長男として誕生。天理幼稚園を卒業後、小学校・中学校を笠岡で学び、天理教校親里高等学校を卒業、岡山科学技術専門学校に進学。その後、本部勤務、修養科、教会長資格検定講習会前期を修了され、平成21年9月から本部ひのきしん青年としてつとめられ、平成22年10月26日、本部青年に登用された。

平成23年1月29日、笠岡大教会六代会長後継者として発表。平成24年4月25日、青年会笠岡分会委員長拝命。

♥ 愛美様プロフィール

昭和59年8月2日、中山慶明本部員、たまよ夫妻の四女として誕生。幼稚園から高校まで親里の学校で学び、その後、天理大学人間学部人間関係学科生涯教育専攻へ進学。卒業後は婦人会文庫にひのきしん者として在籍し、平成20年より約2年、親里女子青年委員長を、平成22年より二期6年間、在籍者子弟による学生会育成委員などをつとめられた。

立教百八十三年 四月月次祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	おつとめ				てをどり			地方	役割 区分	
									上	上	大	大	大	大	大			大
上原順子	今川佐智子	佐藤香苗	岡崎真一	今川昌彦	中島誠治	中村剛	上原浩	山野弘実	虫明好美	田中ますみ	大教会奥様	上原繁道	上原明勇	大教会長様	岡田誠	横山逸郎	吉岡壽	坐り勤
笹尾一美	横山小智榮	森本富美子	赤木素志	高木昭祥	岡田誠	上原志郎	森本忠善	浅野明教	吉岡八恵	門脇加津	武内正美	中村道徳	三島涉	田中隆之	虫明立生	岡崎真一	佐藤道孝	前半
田中つかさ	高木孝子	中村初美	上原繁次	渡邊隆夫	佐藤真孝	山田敏教	内海史郎	今川昌彦	岡崎和美	岡崎豊子	内海安子	上原誠治	中島誠治	門脇元教	浅野明教	武内清明	吉岡誠一郎	後半

講話 (なし)	祭主 大教会長様	扨者 三島涉	上原浩
	指図方 内海史郎	賛者 渡邊隆夫	佐藤道孝
六月講話 (なし)			

立教百八十三年 五月月次祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	おつとめ				てをどり			地方	役割 区分	
									上	上	大	大	大	大	大			大
今川佐智子	佐藤香苗	上原順子	赤木素志	上原志郎	渡邊隆夫	横山逸郎	山田敏教	浅野明教	虫明好美	田中ますみ	大教会奥様	上原繁道	上原明勇	大教会長様	三代温生	三島涉	佐藤道孝	坐り勤
森本富美子	笹尾一美	内海安子	武内清明	山野弘実	高木昭祥	虫明立生	中島誠治	上原繁次	山野なつ	高木孝子	門脇加津	森本忠善	岡崎真一	中村剛	佐藤真孝	中村道徳	吉岡壽	前半
三島照美	岡崎和子	岡崎豊子	岡田誠	浅野明教	山田敏教	三島素志	赤木素志	横山逸郎	吉岡八恵	中村初美	武内正美	吉岡誠一郎	今川昌彦	田中隆之	渡邊隆夫	上原浩	門脇元教	後半

講話 (なし)	祭主 大教会長様	扨者 中島誠治	山野弘実
	指図方 武内清明	賛者 虫明立生	上原明勇
七月講話 上原明勇			

四月月次祭祭文

此の笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいませ

親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様の親心いっばいの御守護とお導きによって日々は結構に恙なく生活させて頂いております 特に今は桜も花から葉桜へと変わり 山ツツジが鮮やかな紫に咲き誇り 鳥たちは喜び一杯の声で鳴く等 春爛漫の季節をお与え下さつております事は 誠に有難く勿体ない極みでございます しかしながら 人々は新型コロナウイルスの蔓延により外出もままならず 当たり前でない生活に戸惑い 春を楽しむどころか不安を募らせるばかりの日々を送っております事は誠に残念で仕方ありません そんな中「我さえ良くば」の人と「こんな中だからこそ助け合いが大切」との人の心遣いの違いがはつきり現れ まるで「はたらきもどふゆう事にをもうかな 善とあくとをわけるばかりや」のお歌通りのご守護を感じさせます この道を信仰している私達こそ 改めて自身の心の真実を見つめ直しつつ ご恩報じの心一筋に 日々は朝夕に御礼申し上げ たすけ一条のご用の上に努め励まして頂いております 又先日四月十八日は教祖二百二十二回目のお誕生日に当たり 帰参は出来ませんでした が各々の教会や自宅でおつとめをさせて頂き共にお祝いを申し上げさせて頂く事が出来ました 誠に有難うございました

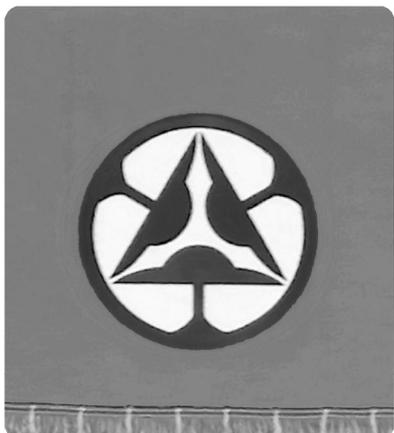
そして本日は 此の笠岡大教会の四月の月次祭を執り行わせて頂く日柄でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同 かしものかりものの喜び感謝の心一杯に 又流行病の一日も早い収束を願って 一手一つに坐りづとめてをどりを つとめさせて頂きます 残念ながら寄り集う事は出来ませんでした が 時を同じくして教会や自宅にて一心におつとめをつとめる皆の誠真実をもお受け取り下さいまして 親神様にもお勇み下さいませ ようお願い申し上げます

さて 今月末の全教一斉ひのきしんデー 五月の修養科 教人資格講習会 教会長資格検定講習会 新任教会長の集いそして今年の子供おちばがえり等の行事が中止となりました 加えて大教会に於きましても 直轄教会への巡教始め 諸行事中止のやむなきに至りました これにより成人の歩みが遅れるように思いますが 外出が思うように出来ないならば 心を見つめ直す良い機会ととらえ じつくりと教理勉強や身近で出来るひのきしんに励み 直接接しなくてもたすけの輪を広げられるよう努めさせて頂く所存でございます

何卒 親神様には どんな中も常に親心を思索し 欲を忘れ親に凭れて たすけ一条に励む 皆の誠真実の心をお受け取り下さいまして 万たすけの上に御守護を賜ると共に 人々の心が澄み切り助け合いの輪が広まって お望み下さる陽気ぐらしの世の状に 一日も早く立て替わります ようお導きの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

講堂舞台の文字幕更新

昭和46年、笠岡大教会移転時より、講堂の舞台に吊されていた文字幕が、半世紀を経て更新されました。



更新前同様、中央に笠岡大教会のマークが配置された

五月月次祭祭文

此の笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に会長上原理一慎んで申し上げます

親神様には一列子供の陽気ぐらしを楽しみに親心一杯に絶え間なくご守護を下さっております 中でも今はツツジが終わりサツキが咲き始めるなど 春から夏へと確実に 又当たり前に季節の移り変わりをお与え頂いておりますとは誠に有り難く勿体ない極みでございます しかしながら世情は新型コロナウイルスの出現により普通の生活が当たり前に出来なくなり不自由を強いられております それにより多くの人が当たり前の有り難さや大事さに気付かせて頂きましたがそこそが親神様のご守護である事に気付く人が少ないのは私共お道の者の不徳と言わざるをえません 誠に申し訳ございません 私共は日々朝夕に御礼申し上げます ご恩報じを念じて 一人でも多くの人に親神様のご守護と親心の有り難さを伝えるべく 伏せ込みやひのきしんで徳積をし つとめやさづけでたすけ一条のご用の上に努め励ませて頂いております

その中今日の吉日は 此の笠岡の御祭り日でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同 喜び感謝の心と一日も早い流行病の終息を願って 明るく陽気に勇んで 坐りづとめてをどりをつとめて五月の月次祭を執り行わせて頂きます 人との密集を避ける為 多くの人が参拝出来ませんが 皆の今日に寄せる真実の心をお受け取り下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて 大教会創立百三十周年記念祭まであと一年五ヶ月でございます この大事な時期に 密閉 密集 密接を避けなければならぬのは大変つらい事ではありますが 「節から芽が出る」 為には むしろ 今を楽しみ心を持って 今だから出来る 又今しか出来ない 一人一人への確かな育てを意識し 確実にたすけの輪が広がっていくように 丹精して頂く所存でございます 一件一件大切に百万件に在り掛けを目指し 一回一回心を込めて大切におさづけを取り次ぎ 初席を運んで頂けるまで一度二度三度と言わず声掛けに力を注いでいく等 大きな歩みではなく むしろ小さな歩みを積み重ねて行きたいと存じます そして時期を得て大きく歩み出したいと思っております

何卒 親神様には どんな中にも真実の親を忘れず 親孝心一筋にたすけ一条に邁進する 皆の誠真実の心をお受け取り下さいまして 小さな歩みも大きく受け取って頂き より自由のご守護をお現し下さり 親心に触れ ご恩報じに勤しむ人が弥増して 万互いが欲を忘れて助け合う陽気ぐらしの世の状に 一日も早く立て替わりますようお願いの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます

大教会だより

◎立教183年直轄教会定期巡教

中止

◎教会指令

◎附属建物増改築願

海松ヶ岡分教会

立教183年4月26日承認

◎任命願

松都分教会

*前任 須山 克子

*新任 三代 拓己



三代拓己氏

立教183年4月26日承認

◎辞令

立教183年5月21日付

◎登用

幹部承事 上原 志郎
承事 武内 清明

承事 田林久嗣
" 虫明立生
准承事 杉原善朗

計報

下田章氏

呉中分教会長
3月18日出直されました。
享年 89才

高信公枝姉

府世原分教会前会長
4月15日出直されました。
享年 90才

飯尾あやめ姉

大教会准承事夫人
4月21日出直されました。
享年 104才

枝廣 緑姉

東福山分教会前会長夫人
5月7日出直されました。
享年 98才

高山森雄氏

驛家分教会長
6月4日出直されました。
享年 90才



先日、某自動車学校で高齢者講習会(道路交通法に基いて70歳から74歳迄の人の免許更新時に行われ、受講しなければ更新不可)を受講した。

内容は器材を使って動体視力、夜間視力、視野の測定、指導員同乗で学校のコースを実走、そして安定運転に関する知識の再確認の講義。

実走は何とか熟したのだが、目の検査の動体視力(測定器の奥から視力検査時に使用する形や文字が現われ確認した瞬間の時間)では、自分の思っていた能力(まだまだ大丈夫と現実的な能力性(5段階評価値①で「劣っている」)の差に愕然とした。そんな筈はない。測定器の故障だ、とも思った。動体視力には少々自信もあった。

講習後、指導員が受講者にこう話した。

「皆さん、結果に少し驚かれたでしょう。歳を重ねるにつれ視力、判断力は必ず低下します。これは誰も同じで当然な事です。しかし低下、衰えないものがあります。それは心です。心の持

ち方なのです。喜びの心を持つ努力をすれば若さを保つ事が出来ると思いません。どうぞ若い心で運転を楽しんで下さい。私もそうなれる様、頑張ります」
この指導員、上級教会の信者さん。
祭典の前日ひのきしんにお婆ちゃんとして。
よく来られていた。保育所に通所する前だったと思う。
あれから40数年。生徒にも人気があると聞く。いやー立派になられたものだ。
(ら)

天理教ホームページより

“暮らしの場”で教えに親しもう

外出を控える
今だからこそ

聴いて味わう

- 布教部 動画「心♡陽気ぐらし」
- 青年会 動画「千遍」
- 道友社 ラジオ「天理教の時間」
- 道友社 朗読動画「朝の信仰読本」
- 道友社 朗読動画「神様からの宿題」

視て感じる

- 少年会 動画「みんなの少年会」
- 道友社 写真ギャラリー「おやさと百景」
- 道友社 動画「おやさと百景」

天理参考館・道友社

天理参考館WEB展示室「スポーツの歴史と文化」

読んで深める

- 道友社 「時報から拾い読み」
- 道友社 「試し読み&無料公開」
- 道友社 あなたが陽気に、世界を陽気に。「JOYOUS LIFE」
- 学生担当委員会・学生会 学生ウェブサイト「Happist」